同窓会同期会便り　3期(1952年3月卒)のページにようこそ!!!

＊同期会・クラス会など同期の仲間との集まり、地元での活躍等の情報をお寄せください。
3期の皆さんからの寄稿をお待ちしています。

＊寄稿に当たっては、卒業期(或いは卒業年月)、氏名(含む旧姓)を必ずご記入ください。

寄稿の宛先は：市川二中同総会事務局　住　所：〒272-0825　市川市須和田2－34－1
E-mail：2chu@kde.biglobe.ne.jp

＊会報1号(1998年10月)より

☆三期生同期会を終えて

3期　D組　佐藤之彦

三期生同期会の報告又は感想を書くようにとの依頼を受けました。小生にはそのような経験がなく、その夜は目が冴えて眠りにつけず朝を迎えました。痛い頭を叩きながら朝刊を開くと「天声人語」に面白い話しが載っているのに目がとまりました。岩波書店の『広辞苑』改定五版に「だめもと」「どたキャン」など一万項目を新たに載せるというのです。「だめもと」は駄目でもともとの意。「どたキャン」は直前になって約束を放棄すること。どたは土壇場、キャンはキャンセルの略と説明されています。小生このどちらを採るかを考えたあげく「だめもと」を選んでこれを書いた次第です。以下は報告です。

前回　平成7年5月21日
　山崎パン厚生年金会館にて、二十年振りの開催
出席者　恩師10名　生徒76名

今回　平成10年5月16日
　サンプラザ35にて、二中同窓会総会当日の夕方の開催
出席者　生徒42名

　いずれも、時間が経つのを忘れるほどの盛会でした。

　前回との間が三年と近かったせいか出席者が減りました。次回は皆様のお元気な姿を多数拝見することを願っております。

＊会報5号(2002年10月)より

3期生会便り

3期B組　山崎健司

6月1日(土)、3回目の3期生会が、4年振りに市川駅前の山崎製パン厚生年金基金会館で同期生40名に、4名の先生方のご来駕も得て開かれました。中には今回が初参加で、卒業以来50年振りの再会という人もいて、当初遠慮がちに次第に〝俺・お前〟の昔に戻って当時を懐かしんで話し込む等、和やかな雰囲気で会は進められました。

　会場はいつもながら二中卒業以後も地元に住まいし、地域と周辺に貢献して今やその名を知らないと潜りだと言われる位の名士に変じたかつての悪童否紅顔の美少年が景気動向と参加者の懐具合を勘案しつつ、会の雰囲気を盛り上げそれなりに豪華にと、顎だけ動かして(良い意味です)設定してくれたものでこの辺のところはさすが苦労人でした。また司会は、六十代半ばのこの歳になっても大声で簡潔な物言いをする適任者が、良い加減に適当に口を挟んで上手く会をリードし、2時間半近くの時間があっという間の感じでした。

　参加者も早や65～66歳、外貌の変化にも個人差は大きく一見先生と見紛うばかりに立派に成長している者もあり(ご出席の先生は全員男子で女子の生徒については比較しておりませんので誤解なきよう)、また未だ現役で活躍中の者もありで話題も豊富・多岐に亘り、

二中時代の懐旧談も程々に健康、趣味、孫、今後の生活設計と幅広く、中には三味線持参で義太夫(?、邦楽については当時学校教育にもなく勉強する機会もなかったので正確には何だかわからない）を聞かせてくれる人生余裕派もいてまことに多士済々これからの人生に示唆を与えられたような気分になりました。

早い時期からの開催準備と運営に奔走された人々に感謝しつつ3年後の元気な再会を約して散会しましたが、お互いの元気な姿を確認するのも意義ある事と思いました。

＊会報8号(2002年4月)より

3期D組クラス会

3期　筧（盛川）政暁

平成14年の同期会で、40余年振りのD組クラス会の幹事を引き受ける事になりました。佐藤之彦、徳間達雄、石橋実、岸川テル子の諸君が協力してくれた結果、15年10月23日に山崎年金基金会館で復活第一回クラス会を開催できました。写真はその第一回のもので、クラスにこだわらず他クラスからも4人の出席者がありました。これはD組を中心とした拡大クラス会と考えても良いかも知れません。第一回成功の勢いで翌16年10月21日に第二回を開催しました。担任だった渡辺有晃先生には第一回は連絡不徹底によりご出席頂けなかったので第二回は連絡を密にして無事出席して頂けました。渡辺先生は76歳とは思えない程若々しく健康で今でも眼鏡なしで新聞が読めると話されていました。

会の雰囲気は最初は一寸堅い感じでしたが、すぐ打ち解けて学校時代の面白い話に腹を抱えて笑ったり、今の若い者は弱々しく頼りないから自衛隊にでも入れて鍛えるべきだと意気盛んなところを見せたりしていました。又、ボランティア活動、特別養護老人ホームの運営、ゴルフや登山、蒸気機関車の模型製作、その他さまざまな近況報告もありました。このように楽しく和やかな一時を過ごし散会しました。今後も更に多数の参加と益々の楽しい語らいの場となることを望みます。

３期Ｄ組

3期・1年赤澤学級のクラス会

3期　苗村　博

季節はずれの熱帯低気圧が吹荒れ、強い南風が小春日和を運んでくれた、12月はじめの昼下がり、第3期1年E組・赤澤学級・2回目のクラス会が、本八幡の『なにわ』にて開催されました。

山本和子（赤澤）先生にとっては、短かかった二中の教員生活の中で、学級担任された唯一のクラスであるだけに、私たち生徒たちの事を特に懐かしく、お思いのご様子でした。また、まだ小学生気分のぬけない、やんちゃ坊主や、お転婆娘の新一年生にとっては、当時22歳の美人の先生をお姉さんのように慕い、Y君やIさん達を

３期・１年赤澤学級

はじめ、以降55年間、毎年ファンレターの年賀状を欠かさず続けていた生徒たちもおりました。
当日、集合した面々は、大阪から駆けつけたEさん含め14名、昔話や、K君の三味線に時を忘れ、あっという間の3時間でした。
次回は05年12月4日（日曜日）の予定です。今回欠席の方も次回は是非どうぞ。

＊会報9号(2006年3月)より

3期・同期会

3期　山﨑　健司

平成17年6月11日入梅4日目、降りそうもない曇空、絶好の期生会日和？　に山崎製パン企業年金基金会館で平成17年3期生会が開かれ、中村欅先生と懐かしい級友22名が元気な姿を見せました。
殆んどの人が来年は古稀を迎えようという中、この3年間級友の不本意な知らせを聞かなかった幸せとお互いの元気な再会に乾杯しました。懇談は陶山君の力強い声と柔軟な司会進行で遠路参加の小宮君、カナダ滞在14年の後初参加となる苗村君、53年ぶりの参加となる細谷君、佐藤(旧姓千田)さんのボランティア活動を何故か本人を差し置いて桑原君が紹介するなどしての近況報告等があり、忽ちの内に53年を遡っての、丸で遠慮のないやり取りは大変賑やかで時間を忘れて寛ぐことが出来ました。
次回の筆頭幹事は苗村君で3年後開催の予定ですが、是非大勢の方がこれからの人生の薬味にも、想い出のひと時を楽しみにお集り頂けたらと願っています。

※出席者：中村欅先生
石井(貫)、大西、陶山、古屋、細谷、岩本(坪田)、河西
小宮、高野(泰)、山﨑(健)、石原(橋本)、江畑、桑原(誠)
苗村、増澤、三橋、佐藤(千田)、菅谷(岩城)、岸川、入村
三束(秋山)、山下(庄司)　　　順不同

＊会報14号(2011年3月)より

3期生同期会報告

3期　松本(柳川)緋沙子

秋の陽射しが降り注ぐ昨年10月17日の午後、山崎会館の市川クラブで3期生同期会が開かれた。石原さんが作製した名札（女性は旧姓を先に記入）を、今回も活用。やはり同期会は子どもの頃の呼び慣れた名前が懐かしい。↘

↘今回は中村欅先生、千葉正子先生の恩師2名と同期31名。当幹事・盛川さんの司会、中村先生の祝杯で始まる。お元気な両先生に感銘を受け、旧交を温め、カラオケとクイズで盛り上がる仲間達。今ここにいない療養中の友、旅立った友に思いを馳せる。時は流れた。

終盤を迎え、幹事が3期生同期会とりきめ事項の報告。西暦偶数年の10月第3日曜午後に実施、会の愛称は懸案とし、次回幹事・大西さんの挨拶。陶山さんが通る声で一本締め。

最後は、三束さん指揮で校歌斉唱。再会を期した。

＊会報16号(2013年3月)より

3期同期会 24年10月21日開催

3期　松本(柳川)緋沙子

煌めく秋の季節、人で賑わう錦糸町「北海道」で3期生同期会は開かれた。千葉正子先生はじめ級友28名が揃った。

当幹事は大西正純さん、丁寧な地図入り案内状が届く。土地不案内の友もいるので感謝。

司会の石井貫太さんの声掛けで、過ぎ去った日々、知らぬ間に宇宙へ旅立った懐かしい先生と友に黙祷を捧げた。常任幹事の苗村博さんから供花のカンパの話しがあった。

千葉先生のご挨拶に続き、軽井沢で長年サンタクロース姿で子供達を楽しませている小宮誠之助さんが「皆な楽しく長生きしようぜ」と力強く宣言して献杯。何やら元気が湧いてくる不思議さ!!

幼馴染みはこうでなきゃあ。

遠く青森から大阪から、卒業以来の級友も錦糸町が懐かしいと話しに花が咲く。大西幹事が機転を利かして、初参加の細谷峯司さんに締めを振る。ほろ酔いの三本締めで、会は笑いに包まれて終宴。

次回は平成26年10月第3日曜日。「喜寿の宴」再会を祈ろう。

―あとがき―

「倶会一処（くえいっしょ）」私の好きな言葉です。それぞれの場で懸命に生きて、宇宙という広場で一処になると自己流に解釈しています。75歳過ぎた3期生にとって同期会は宇宙へと旅立つ前夜祭、思い出の宴です。3期生には夫が95歳過ぎの方もいて療養の日々。また何回もの手術の辛さを片鱗も見せず遠方から参加する友もいます。

元気に頑張っている3期同期会の有様を是非伝えてください。

＊会報18号（2015 年 3 月）より

3期生・同期会だより

3期B組　河西　喜義

2年ごとの偶数年に実施している3期生の同期会を、平成26年は10月19日(日)の12時から市川グランドホテルにて開催しました。

歳を重ねるにつれ体調の優れぬ人が増え、参加者は年々減少し、今回は男性、女性それぞれ9名の参加となりました。しかし、カラオケが入ると曲に合わせてダンスを楽しむ人たちもあり、2時間はまたたく間に過ぎ去りました。

次回は、C組・増澤康年さんを幹事として、平成28年11月13日(日)13時より同じ会場で開催の予定です。

＊会報20号（2017 年 3 月）より

3期・最後の同期会報告

2016/11/13　3期　増澤　康年

2016年秋の同期会は、会員対象者の大多数が満80歳の傘寿を迎えるので、これをもって正規の同期会は最後にしようとの決議がなされておりました。この時幹事に推薦された私は、以来二つの目標をもって臨もうと示されました。

「①出来る限り多くの出席者が参加する会でありたい②出席者の多くの方々が来て良かったと感じられる会になれたら」と願っておりました。結果的にこの目標は、同期会メンバーの協力で会の終了時や、その後かなりの数のお手紙で感想を述べて下さったことにより、達成されたと感謝しております。

出席者は前回の18名から31名となり、そのうち卒業から65年も経過しているにもかかわらず、中村欅、千葉(髙木)正子、山本(赤澤)和子のお３人の先生方もお元気でご出席下さり、それぞれ温かいスピーチを頂戴したり、立食形式だったこともあり、多くの教え子との懐かしい語り合いの時も持つことが出来たと思います。

11月開催は好タイミングでした。今回のポイントは立食式にし、時間のある限りひとりでも多く自由なスピーチをして頂こうとしました。予定していた16人を含め、21人の方々が型にはまらない素晴らしい個性的なお話をされ、聞きほれました。各個人間の交わりも活発でした。

パーティーの内容を陰で支えてくれる中心は、何といっても飲食の内容如何だと思っておりましたので、会場の市川グランドホテル営業責任者の方と何回か直接交渉を持ち、定められた費用↗

↘内でメニューや飲み物の要望等に応じて下さり、予算通りに終わり感謝でした。

会の最後に有志の方から、今後も不定期に同期会を続けようという願いが出され、祝福のうちに散会することが出来ましたが、その裏にはわが同期会の総責任者の苗村博兄と、クラスメイトの菅谷(岩城)美奈子姉の並々ならぬサポートがあったことを記させていただきます。